

ブラジル高配当株オープン(毎月決算型)

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第5作成期

(作成対象期間 2014年10月7日～2015年4月6日)

第22期(決算日 2014年11月5日)	第25期(決算日 2015年2月5日)
第23期(決算日 2014年12月5日)	第26期(決算日 2015年3月5日)
第24期(決算日 2015年1月5日)	第27期(決算日 2015年4月6日)

第27期末(2015年4月6日)	
基準価額	6,886円
純資産総額	14,391百万円
(2014年10月7日～2015年4月6日)	
騰落率	△12.6%
分配金合計	600円

(注1)以下本書において、基準価額及び分配金は1万口当たりで表記しています。

(注2)騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

お問い合わせ先

フリーダイヤル:0120-668001

(受付時間は営業日の午前9時～午後5時です。)

PCサイト <http://www.smtam.jp/>

モバイルサイト <http://m.smtam.jp/>

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。さて、当ファンドは、このたび、上記の決算を行いました。

当ファンドは、主としてサンパウロ証券取引所に上場している株式に投資しました。ここに期間中の運用状況についてご報告申しあげます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申しあげます。

なお、2014年12月1日より投資信託及び投資法人に関する法律が改正されたことに伴い、新たにみなさまに交付する運用報告書は、本紙「交付運用報告書」となります。別途「運用報告書(全体版)」を弊社のホームページに掲載しています。

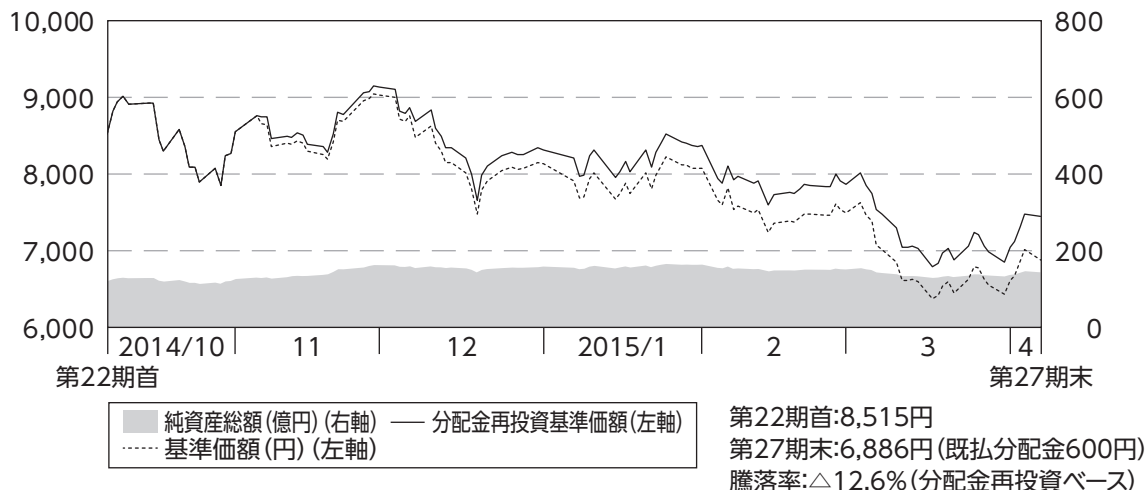
三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

〒105-8574 東京都港区芝三丁目33番1号

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。上記PCサイトにアクセスし、「ファンドを検索する」等から、当ファンドのページを表示させることにより、運用報告書(全体版)を閲覧及びダウンロードすることができます。なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

運用経過の説明

1 基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2014年10月6日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

2 基準価額の主な変動要因

当ファンドの主な投資対象である「LM・ブラジル高配当株ファンド(適格機関投資家専用)」の基準価額が下落したことから、当ファンドの基準価額も下落しました。

組入ファンド	投資資産	当作成対象 期間末組入比率	騰落率
LM・ブラジル高配当株ファンド(適格機関投資家専用)	ブラジルの株式	99.4%	△12.1%
短期金融資産 マザーファンド	わが国の短期金融資産等	0.1%	0.0%

運用経過の説明

3 1万口当たりの費用明細

項目	当作成期		項目の概要
	(2014年10月7日～2015年4月6日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	52円	0.652%	(a) 信託報酬 = [期中の平均基準価額] × 信託報酬率 期中の平均基準価額は7,979円です。 信託報酬に係る消費税は当(作成)期末の税率を採用しています。 委託した資金の運用、基準価額の計算、開示資料作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(投信会社)	(14)	(0.175)	
(販売会社)	(37)	(0.460)	
(受託会社)	(1)	(0.016)	
(b) 売買委託手数料	—	—	(b) 売買委託手数料 = $\frac{[期中の売買委託手数料]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(—)	(—)	
(新株予約権証券)	(—)	(—)	
(オプション証券等)	(—)	(—)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(—)	(—)	
(投資信託証券)	(—)	(—)	
(商品)	(—)	(—)	
(先物・オプション)	(—)	(—)	
(c) 有価証券取引税	—	—	(c) 有価証券取引税 = $\frac{[期中の有価証券取引税]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(—)	(—)	
(新株予約権証券)	(—)	(—)	
(オプション証券等)	(—)	(—)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(—)	(—)	
(公社債)	(—)	(—)	
(投資信託証券)	(—)	(—)	
(d) その他費用	0	0.003	(d) その他費用 = $\frac{[期中のその他費用]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
(保管費用)	(—)	(—)	
(監査費用)	(0)	(0.003)	
合計	52	0.655	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

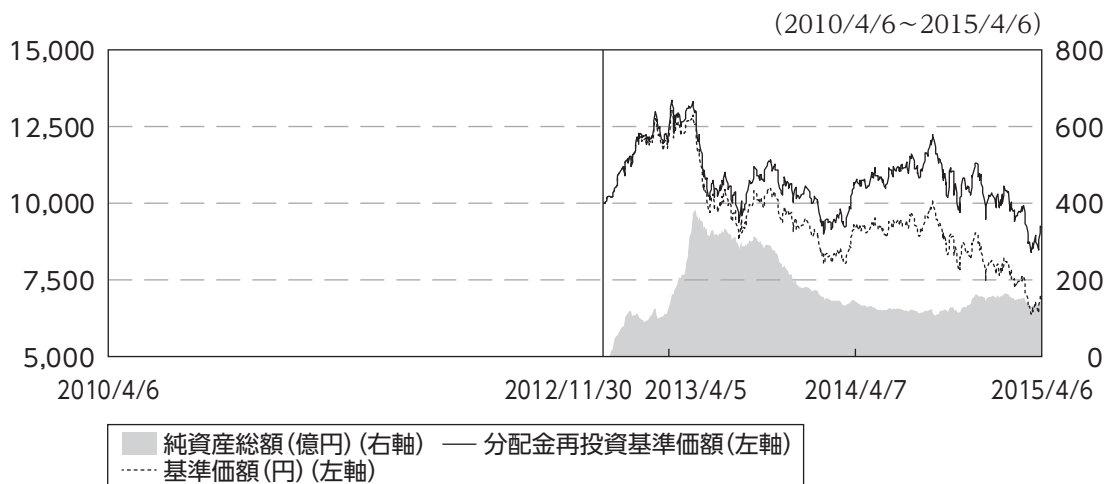
(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) —印は該当がないことを示します。

(注5) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません(マザーファンドを除く)。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入ファンドの概要」に表示しております。

4 最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものと計算しております。

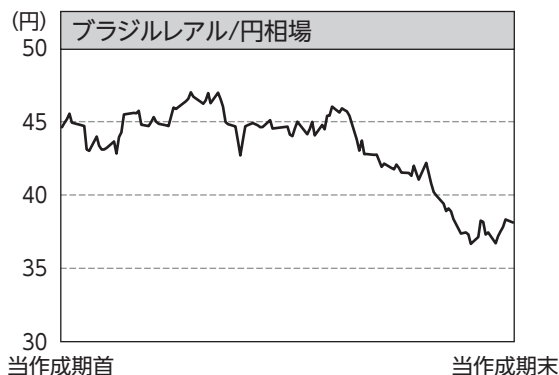
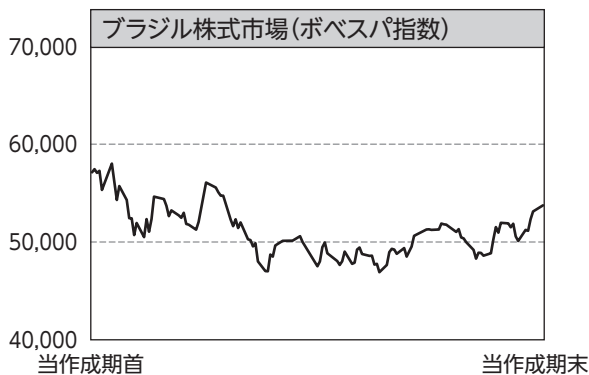
(注2) 分配金再投資基準価額は、2012年11月30日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

決算日	2012年11月30日 設定日	2013年4月5日 決算日	2014年4月7日 決算日	2015年4月6日 決算日
基準価額 (円)	10,000	12,176	9,200	6,886
期間分配金合計(税引前) (円)	—	300	1,200	1,200
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	24.8	△14.5	△13.7
純資産総額 (百万円)	1	12,490	14,354	14,391

(注) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

5 投資環境



ブラジル株式市場は下落しました。国内景気の低迷や、原油、鉄鉱石といった資源価格の下落などを受け、株式市場は軟調に推移しました。その後、新政権による財政・経済改革への期待や、資源価格の下げ止まりなどから、株価は回復する場面も見られました。しかし、国営石油会社ペトロブラスの汚職問題が拡大し、投資家の政権への信頼感が低下したことなどから、株価は再び上値の重い展開となりました。

為替市場では、ブラジルレアル安/円高となりました。金利水準の高さがブラジルレアルの下支え要因となったものの、BCB(ブラジル中央銀行)による為替介入プログラムが終了するとの懸念やペトロブラス問題を背景とする政情不安から、ブラジルレアル売りが優勢となりました。

6 当該投資信託のポートフォリオ

○当ファンド

「LM・ブラジル高配当株ファンド(適格機関投資家専用)」への投資を高位に保つ運用を行いました。

○LM・ブラジル高配当株ファンド(適格機関投資家専用)

配当収入の確保と信託財産の中長期的成長を目指した運用に努め、予想配当利回りが高い銘柄に選別投資し、ポートフォリオを構築しました。当作成期においては、基準価額(分配金再投資ベース)は下落しました。為替市場でブラジルレアル安/円高が進んだことを反映し為替損益がマイナスとなったことが、主な基準価額の下落要因となりました。また、株式市場の下落を受け、株式要因もマイナスとなりました。

<投資対象ファンドについては、運用会社からの情報に基づき掲載しています。>

運用経過の説明

7 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

8 分配金

分配金額は、各期ごとの経費控除後の利子・配当等収益、基準価額水準等を考慮して以下の通りとさせていただきます。

なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

(1万口当たり・税引前)

項目	第22期	第23期	第24期	第25期	第26期	第27期
	2014年10月7日～ 2014年11月5日	2014年11月6日～ 2014年12月5日	2014年12月6日～ 2015年1月5日	2015年1月6日～ 2015年2月5日	2015年2月6日～ 2015年3月5日	2015年3月6日～ 2015年4月6日
当期分配金 (円)	100	100	100	100	100	100
(対基準価額比率) (%)	(1.143)	(1.165)	(1.248)	(1.309)	(1.394)	(1.431)
当期の収益 (円)	100	100	100	100	100	100
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	1,557	1,572	1,586	1,603	1,620	1,637

(注1)「当期の収益」及び「当期の収益以外」は、円未満を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)－印は該当がないことを示します。

今後の運用方針

○当ファンド

LM・ブラジル高配当株ファンド(適格機関投資家専用)への投資を通じて、主としてサンパウロ証券取引所に上場している株式に投資します。

○LM・ブラジル高配当株ファンド(適格機関投資家専用)

LM・ブラジル高配当株マザーファンドを主要投資対象とし、配当収入の確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。

<マザーファンドの投資態度>

主としてブラジルの証券取引所に上場している株式を中心に投資を行います。

○短期金融資産 マザーファンド

わが国の短期金融資産等を中心に投資を行い、わが国の無担保コール翌日物金利*の累積投資収益率を上回る運用成果をめざします。

※「無担保コール翌日物金利」とは、日本銀行が金融調節を行う上でのターゲット・レートとしている短期金利で、金融機関の間で担保なしに
お金を借りて翌営業日に返す翌日物の金利です。

お知らせ

運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により受益者に提供するため、投資信託約款に所要の変更を行いました。

(変更日:2014年12月1日)

信託契約の解約、変更等における書面決議の要件を緩和するため、投資信託約款に所要の変更を行いました。

(変更日:2014年12月1日)

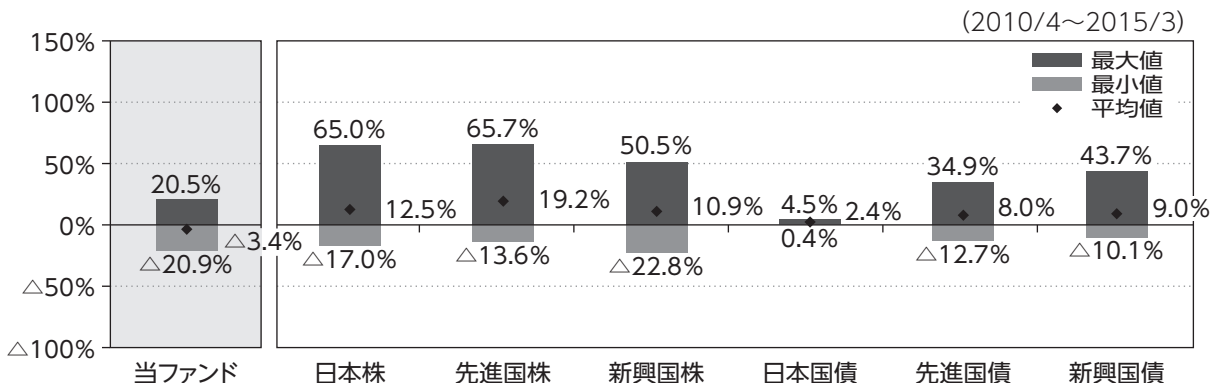
信託契約の解約、変更等における書面決議に反対の受益者による買取請求権に係る条項を削除するため、投資信託約款に所要の変更を行いました。なお、反対の受益者は解約の実行の請求を選択することによって対応できます。

(変更日:2014年12月1日)

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	信託期間は2012年11月30日から2021年10月5日までです。
運用方針	配当収入の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社が運用を行う「LM・ブラジル高配当株ファンド(適格機関投資家専用)」(以下「主要投資対象ファンド」といいます。)を主要投資対象とします。
運用方法	主要投資対象ファンドへの投資を通じて、主としてサンパウロ証券取引所に上場している株式に投資します。
分配方針	毎月決算を行い、収益分配を目指します。 分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益及び売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 分配金額については、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



- (注1) 当ファンドについては2013年11月~2015年3月(5年未満)、他の代表的な資産クラスについては2010年4月~2015年3月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示したものであり、決算日に対応した数値とは異なります。
- (注2) 当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されていますので、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
- (注3) 各資産クラスの指数

日本株・・・TOPIX(東証株価指数、配当込み)^{*1}

先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)^{*2}

新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)^{*3}

日本国債・・・NOMURA-BPI国債^{*4}

先進国国債・・・シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)^{*5}

新興国国債・・・JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)^{*6}

海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベース指数を使用しております。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

- ※1 TOPIX(東証株価指数)とは、株式会社東京証券取引所(以下「東証」)が算出、公表する指数で、東京証券取引所市場第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象とした時価総額加重型の株価指数です。「配当込み」指数は、配当収益を考慮して算出した株価指数です。同指数は、東証の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関する全ての権利は、東証が有しています。なお、東証は、ファンドの設定又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。
- ※2 MSCIコクサイ・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した日本を除く世界の主要国の株式市場の動きを表す株価指数で、株式時価総額をベースに算出されます。また「配当込み」指数は、配当収益を考慮して算出した株価指数です。同指数に関する著作権等の知的財産権及びその他の一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
- ※3 MSCIエマージング・マーケット・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した世界の新興国株式市場の動きを表す株価指数で、株式時価総額をベースに算出されます。また「配当込み」指数は、配当収益を考慮して算出した株価指数です。同指数に関する著作権等の知的財産権及びその他の一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
- ※4 NOMURA-BPI国債とは、野村證券株式会社が公表する、国内で発行された公募固定利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスを基に計算されます。同指数の知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、同指数を用いて行われる当社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。
- ※5 シティ世界国債インデックスとは、Citigroup Index LLCが開発した、世界主要国の国債の総合投資収益を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数は、Citigroup Index LLCの知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、Citigroup Index LLCが有しています。なお、Citigroup Index LLCは、ファンドの設定又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。
- ※6 本指数は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

当該投資信託のデータ

1 当該投資信託の組入資産の内容

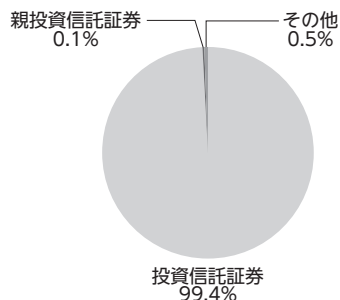
○組入ファンド

	第5作成期末
	2015年4月6日
LM・ブラジル高配当株ファンド(適格機関投資家専用)	99.4%
短期金融資産 マザーファンド	0.1%
その他	0.5%
組入ファンド数	2

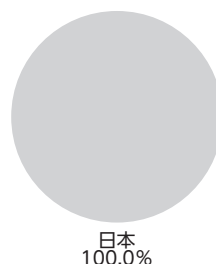
(注1)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2)詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

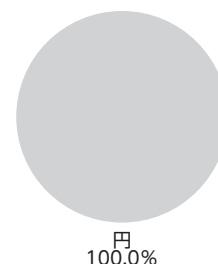
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注)資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。

2 純資産等

項目	第22期末	第23期末	第24期末	第25期末	第26期末	第27期末
	2014年11月5日	2014年12月5日	2015年1月5日	2015年2月5日	2015年3月5日	2015年4月6日
純資産総額	12,901,152,551円	15,495,689,672円	15,572,885,231円	15,303,129,460円	14,365,104,263円	14,391,098,767円
受益権総口数	14,919,950,553口	18,269,574,116口	19,682,326,167口	20,292,783,896口	20,309,408,174口	20,899,557,679口
1万口当たり基準価額	8,647円	8,482円	7,912円	7,541円	7,073円	6,886円

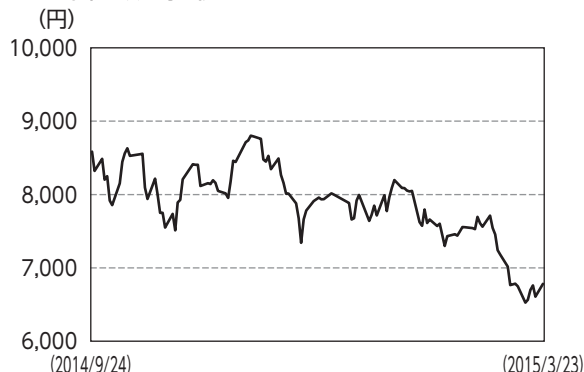
※当作成期間(第22期～第27期)中における追加設定元本額は8,911,868,022円、同解約元本額は2,257,141,266円です。

当該投資信託のデータ

3 組入ファンドの概要

LM・ブラジル高配当株ファンド(適格機関投資家専用)

○基準価額の推移



(注) グラフの基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものと当社が別途計算したものです。

○上位10銘柄

順位	銘柄名	国	組入比率
1	ITAUSA-INVESTIMENTOS ITAU-PR	ブラジル	7.3%
2	BB SEGURIDADE PARTICIPACOES	ブラジル	7.0%
3	AES TIETE SA-PREF	ブラジル	5.8%
4	ECORODOVIAS INFRA E LOG SA	ブラジル	5.8%
5	SOUZA CRUZ SA	ブラジル	5.1%
6	BM&FBOVESPA SA	ブラジル	5.0%

○1万口当たりの費用明細

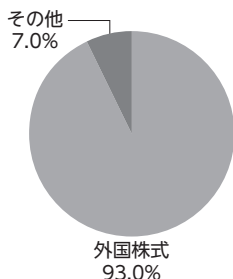
(2014年9月25日～2015年3月23日)

項目	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	23円 (21) (0) (2)
(b) 売買委託手数料 (株式)	7 (7)
(c) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷等費用)	8 (8) (0) (0)
合計	38

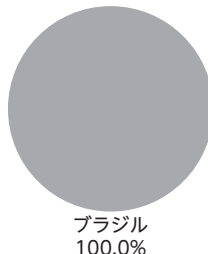
順位	銘柄名	国	組入比率
7	ALUPAR INVESTIMENTO SA-UNIT	ブラジル	5.0%
8	AMBEV SA	ブラジル	5.0%
9	CETIP SA-MERCADOS ORGANIZADO	ブラジル	4.9%
10	BANCO ABC BRASIL SA	ブラジル	4.6%
組入銘柄数			25

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

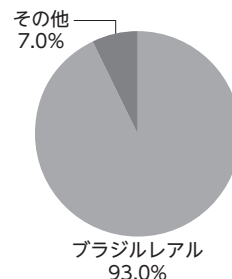
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2015年3月23日現在のものです。
 (注2) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要等については「運用経過の説明 1万口当たりの費用明細」をご参照ください。なお、(c) その他費用の(印刷等費用)は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付及び届出に係る費用です。
 (注3) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。

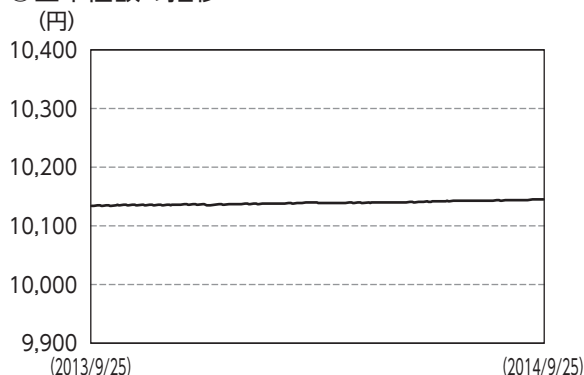
※上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、当該ファンドが投資対象とするマザーファンドの内容を記載しています。
 ※当該ファンドの運用会社からの情報に基づき掲載しています。

当該投資信託のデータ

3 組入ファンドの概要

短期金融資産 マザーファンド

○基準価額の推移



○1万口当たりの費用明細

(2013年9月26日～2014年9月25日)
当期中における該当事項はありません。

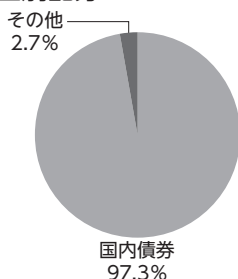
○上位10銘柄

順位	銘柄名	国	組入比率
1	第265回利付国債(10年)	日本	34.9%
2	第346回政府保証道路債券	日本	7.1%
3	第145回政府保証阪神高速道路債券	日本	7.1%
4	第345回政府保証道路債券	日本	7.1%
5	第321回利付国債(2年)	日本	7.0%
6	第87回利付国債(5年)	日本	4.1%

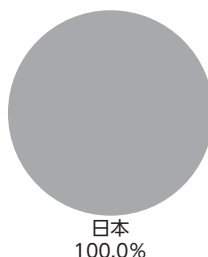
順位	銘柄名	国	組入比率
7	第298回中国電力株式会社債	日本	3.2%
8	第10回政府保証日本政策投資銀行債券	日本	2.9%
9	平成17年度第2回埼玉県公募公債	日本	2.9%
10	平成17年度第2回愛知県公募公債(10年)	日本	2.9%
組入銘柄数			18

(注)組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

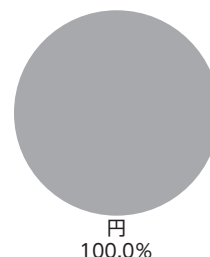
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1)上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2014年9月25日現在のものです。

(注2)1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要等については「運用経過の説明 1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注3)資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。